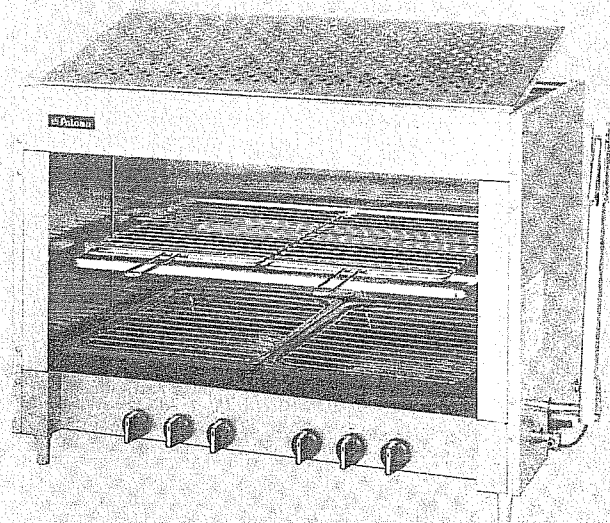


パロマ ガス焼物器

GSY-120・GSY-240

取扱説明書



写真はGSY-240

Paloma

7841
26. 水戸市 960-4807
51 番地
960-4807

あいさつ

このたびは、パロマガス焼物器をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前に各説明をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

目次

■ 特に注意していただきたいこと……………	2
■ 各部の名称……………	3
■ 器具の設置……………	4
■ 使用方法……………	5
■ 日常の点検・手入れ……………	7
■ 故障・異常の見分け方と処置方法……………	8
■ 保管(長期間使用しない場合)……………	8
■ 仕様……………	9
■ アフターサービス……………	9
■ 保証書……………	10

■ 特に注意していただきたいこと

■ 使用ガスについてのご注意

- 器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

■ 用途についてのご注意

- 調理以外の用途(炭・煉炭おこしなど)には使用しないでください。
- 衣類の乾燥などに使用しないでください。

■ 市販の補助用具使用についてのご注意

- 付属品、あるいはこの器具用の補助具以外は使用しないでください。不完全燃焼・器体過熱火災等の危険があります。

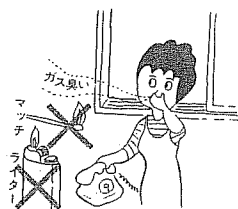
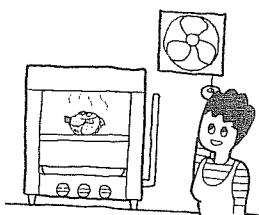
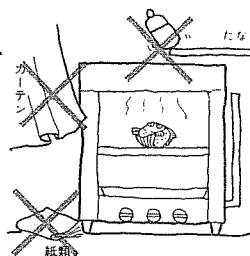
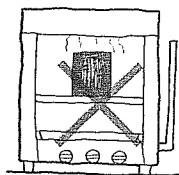
■ 使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込むところでは使用しないでください。風で吹き消えることがあります。
- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
- カーテンや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。

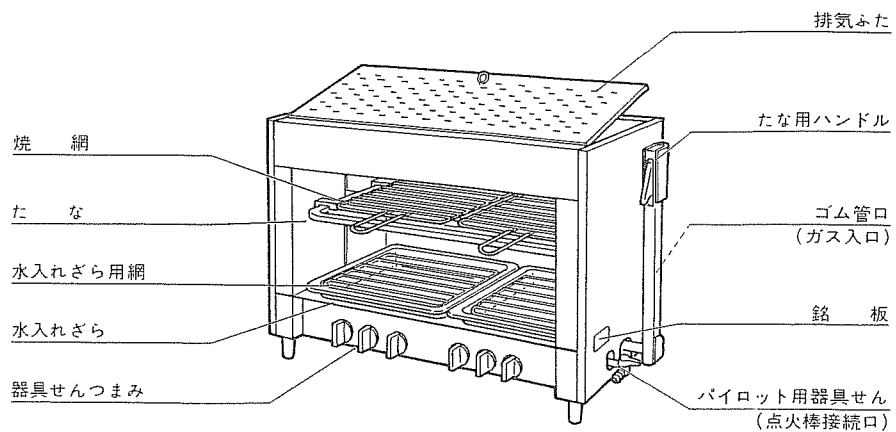
■ 使用上のご注意

- 使用中は時どき窓を開けるか、換気扇を回して、お部屋の空気を入れ替えてください。
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。
 - 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
 - 使用中、および使用直後はバーナー、排気ふた等は高温になりますので、手を触れないでください。
 - 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
使用後は必ず器具せんつまみを閉め、消火したことを確かめてください。また就寝時や外出の際には、ガス元せんは必ず閉めてください。
 - 火をつけたままの就寝・外出は絶対にしないでください。
 - ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉め、窓や戸を全部開けて、ガスを外へ出してからお買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。
- 【注】 万一ガス漏れしたときは、電気のスウィッチの開閉や、マッチ・ライターの使用は爆発などの危険性がありますので絶対さけてください。
- 万一、異常燃焼を起こしたときや緊急の場合、あわてずに器具せんつまみとガス元せんを閉めてください。

焼 物 器	
形 式 名	ガスの種類
ガスグループ	
毎時ガス消費量	
製造年月	製造番号
製造事業者名	



各部の名称



図はGSY-240

付属部品

器種	部品	串	串焼き用支持金具	点火棒	ゴム管 (φ9.5mm用)	ゴム管止め
GSY-120 240		10本	1セット	1本	70cm	2ヶ

器具の設置

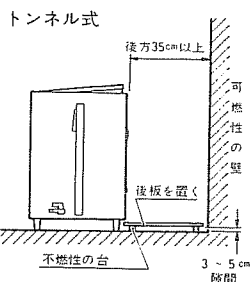
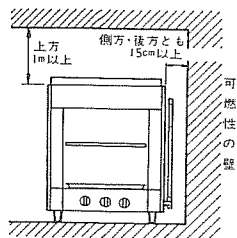
■ 設置前の準備

- 各部分の包装部品を取りはずしてください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスと一致しているか確認してください。
- 焼網・水入れざら用網・水入れざらなどが器具本体に正しくセットされているか確かめてください。

■ 設置

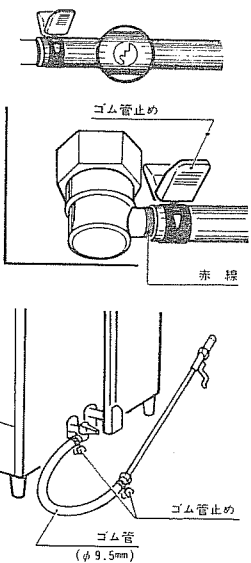
1) 設置場所および周囲の危険物、防火措置について

- 1) 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合
- 器具の側面および背面は木製のような可燃性の壁(ステンレス板などを直接張りつけた可燃性の壁を含む)から15cm以上、また上方は1m以上離してお使いください。
 - 後板を取りはずして、トンネル式で調理する場合、可燃性の後部壁面からは35cm以上離し、取りはずした後板を図のように少し(3~5cm)浮かせてお使いください。



2) ゴム管および鉄管の接続

- ゴム管はガス用のゴム管(JISマーク、または「検査合格」と入った年号入りのもの)を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
又、LPガス用と都市ガス用がありますので注意して下さい。
- ゴム管はできるだけ短め(2m以下)にお使いください。また、折れ、ねじれ、引張りなどのないようにしてください。
- ゴム管は器具に触れたり、器具の下を通したりしないようにしてください。
- 新しいゴム管を使用してください。ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替えてください。
(なお、半年に1回は点検してください。)
- ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。ゴム管の継ぎたしや二又分岐はガスもれの原因となり危険ですから行わないでください。
- 点火棒を付属のゴム管でパイロット用器具せんと接続してください。ゴム管は点火棒・パイロット用器具せんの各々のゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。



■ 使用方法

■ 点火前の準備と確認

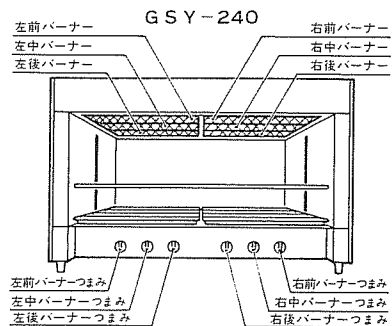
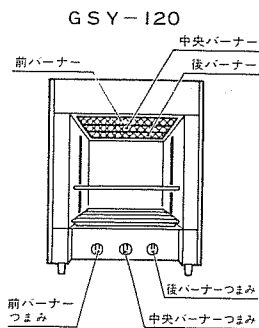
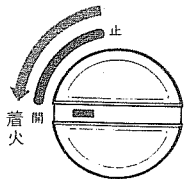
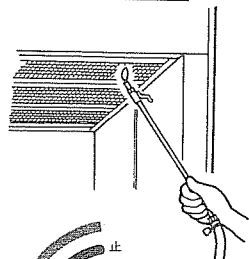
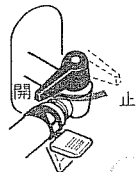
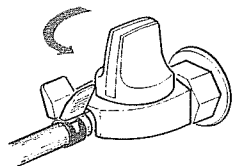
- 器具せんつまみ・パイロット用器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。
- 水入れざらに必ず水を半分ほど入れてください。

■ 点火

- 点火棒の炎口にマッチまたはライターの火を近づけ、パイロット用器具せんつまみを開にして、点火してください。
- 各々のバーナーに器具せんつまみがついています。バーナーに点火棒を近づけ、器具せんつまみを「開」の方向へいっぱい押し回してください。バーナーに着火します。

〈必ず着火を確認してください〉

- 点火するバーナーと器具せんつまみを間違いのないように使用してください。



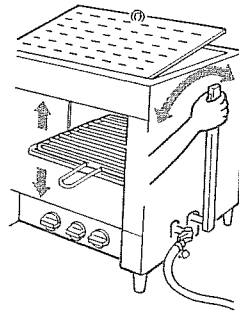
- 初めて使う時やしばらく使わなかった時には、ゴム管(配管)内に空気が入っておりますので、空気を追い出すために点火操作を3~4回繰り返してください。

■ 空気調節

- この器具は空気調節がしてありますので、そのまま使用してください。
- ガスが正しく燃えているかどうか、ときどき確認してください。

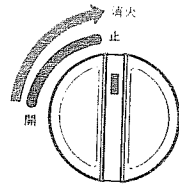
■ 火力調節

- 器具せんつまみを「開」の位置にしたまま、たなを上・下に動かし、火加減をしてください。
- たな用ハンドルのレバーを握り、前後に動かしてください。たなが上・下に移動します。お望みの位置でレバーをはなすと、たなは固定されます。
- 器具前面にたな位置用の数字があります。目やすとして利用してください。



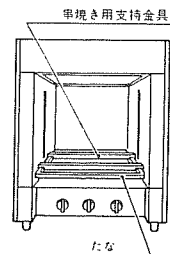
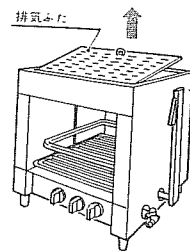
消火

- 器具せんつまみを「止」の位置まで回すと、火が消えます。点火棒は、パイロット用器具せんつまみを閉めると、火が消えます。ご使用後は、必ずガス元せんを閉めてください。



■ 使い方、および使用上の注意

- はじめてお使いになる時は、必ず12～15分ぐらい空焼きをしてください。油を焼ききるためで、煙が出ても異常ではありません。
- 水入れぎらに水を半分程入れてご使用ください。水が入っていないと魚・肉から出た脂が発火したり、置台過熱の恐れがあります。長時間使用時は水を追加し、脂が飛び散る様時は水を入れ替えてください。
- 使用中は必ず排気ふたを開けておいてください。(GSY-120・240)
- 点火の際には、バーナーの全部の炎口に着火した後、バーナー全面が赤くなったことを確かめてください。
- 使用中は器具の温度が高くなりますので、器具せんつまみ・たな用ハンドル以外には触れないでください。
- 加熱した焼網・水入れぎら用網・水入れぎらを水などで急に冷やさないでください。変形したり、水が加熱されて飛び散ったりして危険です。
- ▲狭いお部屋やしめきった部屋でのご使用や長時間ご使用になるときは、お部屋の換気が必要です。ときどき窓をあけたり、換気扇を回して換気を行ってください。窓のない部屋には換気口（給気口・排気口）を必ず設けてください。



＜串焼き用支持金具の使い方＞

- たなに串焼き用支持金具の切欠きを確実にはめ込んで使用してください。串焼き料理にご利用ください。
- 串焼き用支持金具の間隔は料理の大きさ（串の長さ）に合わせて調節してください。

■ 日常の点検・手入れ

■ 点検・手入れの際のご注意

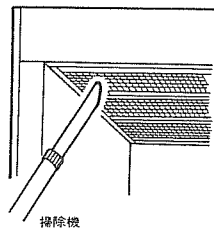
- 点検で異常を見つけれたら、お買い求めの販売店か当社指定のパロマサービスショップに修理を依頼してください。
- お手入れの前にはガス元せんを閉め、器具が冷えてからお手入れをしてください。

■ 点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、折れてはいませんか。またゴム管がガス元せんやゴム管口に十分に差し込まれていますか。
- 焼網・水入れざら用網・水入れざらなどが正しくセットされていますか。
- バーナーの炎口が詰まっていますか。

■ お手入れ

- バーナーにほこりやごみが付着したまま使用しますと、バーナーが不均一に赤熱します。電気掃除機でバーナー放熱体を吹きつけるか、すいとるなどして掃除してください。
掃除の時、バーナー放熱体に触れて、傷つけないように注意してください。
- 焼網・串・水入れざら用網・水入れざらなどの汚れのひどいときには、中性洗剤などで水洗いしたのち、乾いた布で水気をふき取ってください。
- 水入れざらにたまった脂などは、水と一緒にすてるようにしてください。掃除が簡単にできます。



故障、異常の見分け方と処置方法

原因	現象							処置方法	参照ページ
	着火しない	放熱体から「炎」「すす」が出る	異常音をたてて燃える	消火しない	ガスのおいがする	器具せんとつまみの操作が重い	使用中に消火する		
ガス元せんが閉まっている	*							ガス元せんを開ける	5
LPガスがなくなりかけている	*					*	*	新しいボンベと交換する	—
ガス圧が適切でない	*	*	*				*	販売店・ガス会社へ依頼する	—
ゴム管のひび割れ・穴あき					*			新しいゴム管と交換する	4
ゴム管の接続が不完全					*			ゴム管の接続を確実にする	4
ゴム管が折れている	*					*	*	ゴム管の折れをなおす	4
ゴム管の中に空気が残っている	*					*		点火操作を繰り返す	5
空気調節が適切でない	*	*	*				*	販売店に依頼する	—
ノズル詰まり	*	*				*	*	販売店に依頼する	—
空気吸込口にほこりが詰まっている		*						販売店に依頼する	—
器具せんの故障	*			*	*	*		販売店に相談してください	—
バーナー炎口の詰まり	*	*	*		*		*	販売店へ依頼する	—
器具の銘板と使用ガスが不一致	*	*	*		*	*	*	販売店へ連絡する	2

ご使用中にご不審な点がございましたら、ただちに使用を中止して上記点検をしていただき、なお不審な場合はお買い求めの販売店か当社指定のパロマサービスショップまたは当社までご連絡ください。

●保管(長期間使用しない場合)

- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お買い求めになった時の箱に入れ、湿気やほこりの少ない所で保管してください。特にガスの通路部（ゴム管口など）には、ほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

仕 様

品 名		GSY - 120		GSY - 240	
種 類		上 火 式 赤 外 線 焼 物 器			
外形寸法 (mm)		高さ 590 × 幅 525 × 奥行 450		高さ 590 × 幅 875 × 奥行 450	
重 量 (本体)		23kg		36kg	
		ガス消費量	ガス接続	ガス消費量	ガス接続
都 市 ガ ス 用	4 A	5.00 (4300)	φ 9.5mm ガス用 ゴム管	9.66 (8310)	φ 13mm ガス用 ゴム管
	4 B	5.06 (4350)		9.78 (8410)	
	4 C	5.02 (4320)		9.98 (8580)	
	5 A	5.62 (4830)		10.8 (9300)	
	5AN	5.50 (4730)		10.9 (9390)	
	5 B	5.56 (4780)		10.7 (9210)	
	5 C	5.60 (4820)		10.7 (9210)	
	6 A	5.50 (4730)		11.3 (9740)	
	6 B	5.45 (4690)		10.8 (9330)	
	6 C	5.20 (4470)		10.3 (8890)	
kW (kcal/h)	7 C	5.63 (4840)		11.2 (9620)	
	12A	5.16 (4440)		10.4 (8960)	
	13A	5.55 (4770)		11.2 (9620)	
	LP ガス用 kW (kg/h)	5.63 (0.402)		11.7 (0.834)	φ 9.5mm

※ 上記仕様は改良のため、お知らせせずに変更することもあります。

9.5mm

アフターサービス

■ サービス(点検・修理)を依頼される前に

1. 8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
2. 確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店か当社指定のパロマサービスショップまたは当社までご連絡ください。
3. アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
(1)製品名 (2)形式名(銘板表示のもの) (3)現象(できるだけ詳しく) (4)道順

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

当社は通商産業省の指導により当製品製造中止後5年を基準に補修用性能部品を保有しております。

■ 連絡先

補修用性能部品についての詳細、ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるとき、その他ご不明の点はお買い求めの販売店か当社指定のパロマサービスショップまたは当社までご連絡ください。

別添の「お客様ご相談窓口」をご参照ください。

保証書

品名	GSY-120・GSY-240	ガス焼物器
----	-----------------	-------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ販売店またはパロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買上げの販売店またはパロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書によらないでご使用になったり、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の取付場所の移動(取付け工事の依頼が必要な機器の場合)、落下等による故障および損傷
 - 公害、火災、水害、地震等の天災地変、異常電圧(電気部品搭載の機器の場合)、供給事情(燃料・給水等)などによる故障および損傷
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
 - 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所 〒□□□□	
	お電話 ()	-

保証期間および販売店名

保証期間	お買上げ	年	月	日から1年間
------	------	---	---	--------

販売店	店名	㊞
	住所 〒□□□□	
	電話番号 ()	-

株式会社 **パロマ** 
 〒467名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
 電話 (052) 824-5145

修理記録

年月日	修理内容	サービス員㊞

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店またはパロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップにお問合わせください。
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

Paloma